

国史跡 盛岡城跡



荒屋遺跡



下永林遺跡



稻荷町遺跡



百目木遺跡



西鹿渡遺跡



第38回埋蔵文化財調査資料展

# 盛岡を発掘する

令和2年度調査速報

2021年2月6日(土)

5月23日(日)

盛岡市 遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋13-1  
TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605



荒屋遺跡は、盛岡市永井地内に所在し、雫石川・北上川右岸の沖積段丘上に立地しています。これまで周辺では、8・9世紀の古代集落が見つっています。

第5次調査では、竪穴建物跡が12棟、古代以降の土坑10基、溝跡2条を発見しました。竪穴建物跡の大半は、奈良時代のもので、カマドは北西向きに作られていました。これらカマドの多くは、完形の土師器の甕を芯材に使用して作られていました。これは、周辺遺跡であまり見られない特徴です。また、竪穴建物跡内から多くの炭化材や土器が出土したのもありました。竪穴建物跡に堆積した土の上部から、915年に降下した十和田a火山灰が見つかりました。出土遺物とともに建物の廃絶時期や埋没の経過を考察することができる資料といえます。

竪穴建物跡からは、土師器の坏や甕・甌・球胴甕（壺）・高坏や、鉄製刀子・土製紡錘車（糸つむぎの道具）など、当時使われていた様々な遺物が出土しました。



土師器の甕を芯材に使ったカマド



竪穴建物跡に堆積した十和田a火山灰（中央部 白）



竪穴建物跡（RA09）出土土師器

下永林遺跡は、盛岡市三本柳・津志田地内に所在し、雫石川・北上川右岸の沖積段丘上に立地する、奈良～平安時代の群集墳（有力者の墓域）です。

昭和10年（1935）、畑の耕作中に蕨手刀が出土したと伝えられ、昔は蝦夷（エミシ）の塚があったと言われていました。

今回は、最大内径13m前後を含む円形周溝18基（うち主体部を伴う1基）と、土坑墓1基、縄文時代の陥穴状土坑4基を確認しました。

円形周溝からは、底部付近を意図的に打ち欠き墳墓に供献された土師器壺や、坏が出土しました。墳丘に置かれていたものが落下したり、あるいは墳丘の崩壊によって周溝に入ったものと推察されます。

土坑墓からは、鉄製の直刀・刀子・釣針などの貴重な副葬品を発見しました。



円形周溝全景



円形周溝から出土した土師器壺



土坑墓から出土した直刀

盛岡城は、初代盛岡藩主南部信直と2代藩主利直親子によって、丘陵地を利用して築かれた平山城です。明治維新後、城内建物のほとんどは取り壊されてしまいましたが、往時を偲ばせる雄大な石垣が良好に残されていることから、昭和12年（1937）に国史跡に指定されています。

今年度は、三ノ丸地区（第37次補足調査）で石垣修復に伴う調査と、本丸地区（第41次調査）では、史跡整備に伴う調査を行いました。三ノ丸地区は瓦門北袖石垣上面の未調査部分を調査し、平成30年度に西側に隣接する第37次調査において塀の控柱跡を盛岡城で初めて確認しましたが、今回新たに20口の控柱跡を発見しました。控柱跡の変遷（新旧関係）から、塀は少なくとも3回は建替えられていることがわかりました。

本丸地区では本丸南東部を調査し、かつて本丸南側に所在した「大奥」（南部家の私的居住区域）のうち「長局」や「湯殿」などの建物に伴う掘方や礎石、根石などを発見しました。掘方は数度の時期変遷が見られるとともに、調査区の至る箇所において明治39年開園の岩手公園整備以降の影響も確認しました。



三ノ丸瓦門北袖石垣・瓦や土を敷き詰めた層（左側）



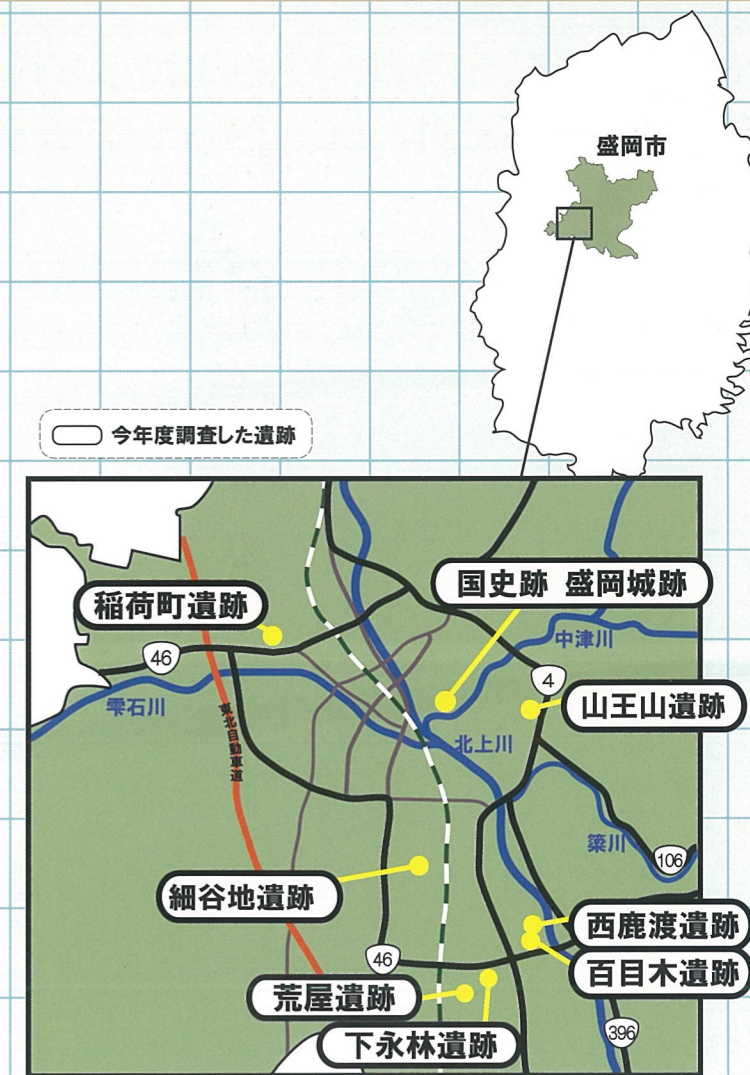
本丸調査区東側の全景（北から）



柱の礎盤として使われていた瓦が敷かれた控柱跡



礎石に伴う根石



# 盛岡市内の主な遺跡と時代

時代	年代	西暦	主な出来事	市内の主な遺跡	令和2年度調査遺跡	
原始	旧石器時代		大陸と地続き、大型の動物が生息する	小石川遺跡(藪川)		
	草創期	12,000年前	土器の使用がはじまる	大新町遺跡(大新町)		
		早期	8,000年前	定住化がすすむ	館坂遺跡(前九年) 庄ヶ畑A遺跡(上米内) 大新町遺跡(大新町) 日戸遺跡(日戸) 新茶屋遺跡(山岸) 上八木田遺跡(新庄) 畑遺跡(上米内)	
	前期	6,000年前	気候の温暖化、海面の上昇 漁労の発達、各地に大型住居が出現	【県史跡】大館町遺跡(大新町)		
		中期	5,000年前	各地に大規模な縄文集落が発達	柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢) 大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内) 葛内遺跡(繫) 上平遺跡(猪去)	
	後期	4,000年前	気候の寒冷化 ストーンサークルがつくられる	川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(川又)		
	晩期	3,000年前	東日本で亀ヶ岡文化が栄える			
	弥生・古墳	弥生時代	紀元前 2,000年前	水田耕作の開始 金属器の使用が始まる	繫VI遺跡(繫) 一本松遺跡(下米内)	
		古墳時代	57	倭の奴国王が後漢の光武帝より印綬を賜る		
			239	邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを出す ヤマト政権、統一進む	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸)	
飛鳥時代		1,400年前	593 聖徳太子が摂政となる 645 大化の改新	上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上妻)		
奈良時代		1,300年前	710 平城京に都をうつす 724 多賀城が築かれる	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 釜崎遺跡(好摩)	西鹿渡遺跡(三本柳) 荒屋遺跡(永井)	
		774	陸奥国38年戦争始まる(~812年)	西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(永井) 館・松ノ木遺跡(上太田)	下永林遺跡(津志田)	
平安時代		1,200年前	794 平安京に都をうつす 胆沢城(802)志波城(803)徳丹城(812) が築かれる 894 遣唐使が停止される	【国史跡】志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 芋田遺跡(芋田) 稻荷町遺跡(大館町・稻荷町) 内村遺跡(下飯岡)	百目木遺跡(三本柳) 山王山遺跡(山王町)	
		1,000年前	1016 藤原道長が摂政となる 1051 前九年の戦い(~1062年) 1083 後三年の戦い(~1087年) 1124 中尊寺金色堂完成 1189 奥州藤原氏滅亡			
鎌倉時代		800年前	1192 源頼朝が征夷大將軍となる 文永の役(1274) 弘安の役(1281)	大宮遺跡(本宮) 堰根遺跡(浅岸) 台太郎遺跡(向中野) 落合遺跡(下米内)	稻荷町遺跡(大館町)	
室町時代		600年前	1336 南北朝に分かれ、対立する 1338 足利尊氏が征夷大將軍となる 1404 足利義満、明との貿易を開始する 1467 応仁の乱	里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 日戸館遺跡(日戸) 下田館遺跡(下田)		
	安土桃山時代	1588 南部信直が志和郡を攻略する 1590 豊臣秀吉が天下を統一する	【市史跡】玉山館遺跡(玉山) 【国史跡】盛岡城跡(内丸)	【国史跡】盛岡城跡(内丸)		
江戸時代	400年前	1603 徳川家康が征夷大將軍となる 1641 鎖国の体制が固まる	南部家墓所(北山) 山蔭窯(茶畑)・花古窯(新庄)			
	明治時代 大正時代	1853 アメリカの使節ペリーが浦賀に来る 1867 大政奉還 王政復古の号令 1923 関東大震災		細谷地遺跡(向中野)		

## ◆令和2年度調査成果報告会◆

■日時 2021年3月7日(日) 13:30~15:00 ■会場 盛岡市遺跡の学び館 研修室(定員40名)

■報告遺跡 荒屋遺跡・下永林遺跡・国指定史跡 盛岡城跡(予定) ※入場無料、往復ハガキにて事前の申し込みが必要です。

~新型コロナウイルス感染症対策のため、内容が変更・中止になる可能性があります~